

## 「企業と社会貢献活動」に焦点

来月10日に第3回樽商大講座

小樽商大との共催「時代がよめる経済・ビジネス講座」の第3回を11月10日(土)午前10時30分から、同大札幌サテライト(札幌市中央区北5西5、sapporo55ビル3階)で開きます。商学科の加賀田和弘准教授が「地域での社会貢献を通じた企業価値の創造と戦略」と題して講義します。定員は60人。参加は無料です。

近年、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる企業が目立ちます。現代社会が持つさまざまな課題へ企業がどのように関与しているのか、取り組みを



加賀田和弘  
准教授

考えます。企業の社会的責任(CSR)や社会貢献活動から企業価値をつくるCSV(共有価値の創造)の動きも見ていきます。活動が地域社会・文化の質の向上や生活の変化を生む原動力になっていることを考察します。

### 申し込み

係名は「商大講座③」。紙面左下の「応募はコチラ」を参照。1通で2人まで応募できます。その場合は⑦に同伴者の氏名と年齢を書いてください。10月21日(日)必着。抽選の上、当選者のみに参加券を送ります。

# 総菜選べる弁当 どうぞ

## 小樽商大生 中央市場で企画

小樽商大の学生が13日、中央市場(稲穂3)で、イベント「小樽いちべん・中央」を開く。市場内を回って総菜を選び、オリジナル弁当を作る企画。幅広い年



中央市場の活性化イベント「小樽いちべん・中央」のチラシ

代に集まってもらい、市場の活性化を図る。

同大の科目「商大生が小樽の活性化について本気で考えるプロジェクト(マジプロ)」を履修する学生4人が企画。同チームは4月にもイベント「中央市場を元気にする春まつり」を開いた。

今回は、市場内の13店舗が参加。2棟の入り口近くで学生が配る無料容器(大、中、小)に、購入した総菜を詰める。アルミカップに入ったナポリタン(30円)やうの花(50円、55円)など。ザンギ(1個50円)といったおすすめ商品を書いたポ

スターも掲示する。

午前11時〜午後3時で、先着100人。市場内のイートインスペースで味わえる。2年の若松歩実さん(19)は「おいしい食べ物や店員との会話を堪能してほしい」と来場を呼びかけている。

同日午後1時〜4時半には、本気プロ履修生28人による中間発表会が市公会堂(花園5)で開かれる。祝津の自転車ツアアや手作り移住パンフレットなど学生のアイデアを発表。無料。直接会場へ。問い合わせは同大☎0134・27・5240へ。(前野貴大)

## 小樽ジャーナル (30年10月9日)

### ■ オリジナル弁当を作ろう！ いちべん (2018/10/09)

[Tweet](#)

小樽商科大学(緑3)の本気(マジ)プロ受講生、市場の交流拠点チーム(悪七栄美・田中大貴・山本明日香・若松歩実さん)は、10月13日(土)11:00~14:00に、中央市場(稲穂3)と共同で、「小樽いちべん・中央~オリジナル中央市場弁当を作ろう！」を実施する。



食育に関連して、添加物不使用の市場ならではの、地元になじんだ惣菜を弁当に詰めて食べてもらおうと、市場で弁当の意味「いちべん」を開く。

市場内で、選べる3タイプの容器を受け取ってポスター掲載の協力店を回り、好みの惣菜等を詰め、惣菜屋「たるっこ」で白飯を詰めて完成。(限定100食・400円~600円程度)。市場内のイートインコーナーで食べることができ、持ち帰りも可能。

同チームは、2018年1月~7月で、小樽の活性化について本気で考えるプロジェクトの履修生。3月まで月3~5回、市場に足を運び、来客数や客層を調査。スーパーやコンビニを利用

する人が増え、市場を利用する人が減少している現状が分かった。

市場に若い人を呼び込もうと、子どもを対象に縁日や親子で楽しむ工作体験などを行う、春まつりを開いた。

アンケート調査や前回の反省点を踏まえ、今回は、子どもから大人まで幅広い市民をターゲットに、市場のイベント「ガンガンバザール」に便乗して、継続性を狙った。

若松さんは、「市場には美味しい食べ物があり、店員さんも親切で、会話と市場の良い所を楽しんでもらいたい」と話し、悪七さんは、「1月からの活動の集大成となる。市場の良さを感じ、今後も市場に来てもらいたい」とプロジェクトの成功を祈った。

小樽ジャーナル (30年10月9日)

**小樽いちべん・中央**  
**～オリジナル中央市場弁当を作ろう！～**  
**の開催について**



みなさん、こんにちは！小樽高科大学本気7口(小樽の活性化について学生が本気で考える活動)チームです。今回私たちは**10月13日(土)**に**先着100名様限定**で、オリジナル弁当を気軽に作って食べることができる企画をご用意いたしました！

**場所 中央市場構内**

**日時 10月13日(土)**  
**11時から14時まで**



**オリジナル弁当の作り方概要**

1. 容器をもらう(サイズ選べます)
2. 市場内のお店にてお好みのお惣菜を詰める

※イートインスペース設けています。  
ふたを開けてお運びください。

また、当日には、野菜やフルーツなどのバラ売り、お子様が楽しめる企画もご用意しておりますので、奮ってご参加くださいね！

**皆様のお越しをお待ちしています！！**

※ 小樽駅から徒歩約3分とアクセス抜群です。  
専用駐車場は小樽中央卸市場の向かいにございますので、ご利用ください。

国立大学法人 小樽高科大学 本気7口市場の交流拠点化チーム  
イベント責任者: 山本 明日香

風景画家・中村善策の作品

# 恩義の人物画 小樽に里帰り

小樽を代表する風景画家・中村善策（1901～1983年）の人物画2点が、石川県加賀市橋立町の北前船主家、西谷家の5代目・庄八（1860～1933年）の子孫から市立小樽美術館に託された。作品は地域の文化芸術に寄与した西谷家への善策の恩義を映している。27日から同館で展示する。

（有田麻子）

## 石川から 市立美術館で展示へ

人物画は西谷庄八の妻、和喜像と、6代目・西谷正治の妻、貞子像の2点。北海道北前船調査会を主宰する土屋周二さん（元・小樽市総合博物館館長）と小樽商科大の高野宏康研究員が7月に旧西谷家を訪ね、小樽に関する1万点以上の資料から発見した。土屋さんは「地域の文化・教育のために財産を投じた明治、大正の商人の気骨が西谷庄八にもあり、善策を支えた。恩義を感じて描いたものだろう」と推察する。

善策による人物画は少なく、同館では文、駒吉の道影や妻、舞子像など3点所蔵するのみ。星田七重学芸員は8月14日に同館に託された2点について「人物の内面に迫ろうとしている。『人物を描けなかった』という世評もあるが、決してそうではない」と強調する。

今月27日に始まる中村善策記念ホール開設30年、没後35年の記念展「中村善策と小樽・風景画の系譜」の特設コーナーで西谷家と善策の書簡と共に展示する。来年2月24日まで。問い合わせは市立小樽美術館 ☎0134・34・0035へ。

庄八は北前船交易で財を成し、1887年（明治20年）に小樽に進出し回漕店を開業。95年（同28年）に倉庫会社「小樽倉庫」を創設し、1922年（大正11年）に海運会社「西谷海運」を小樽に設立した。

善策は15歳で同社に入社。働きながら小樽洋画研究所に通い絵画を勉強をした。庄八と息子の正治は善策が画家を志し23歳で上京する直前の半年間、地獄坂近くの山荘をあてがい絵に専念させ、27歳で結婚した時の新居も手配するなど手厚く支援した。



中村善策の西谷家への恩義が伝わる西谷和喜像（左）と西谷貞子像（右）

# 連合立憲、原谷氏を支援

## 参院道選挙区 4者、勝部氏に続き

国民民主党道連、立憲民主党政道連、連合北海道、北海道農民政治力会議の4者は9日の連絡調整会議で、来年夏の参院選道選挙区(改選数3)の候補として、国民民主党が擁立する予定の獣医師資格を持つ原谷那美氏(34)―札幌市在住―を協力して支援することを決めた。既に決定していた立憲民主党公認候補の道議会副議長、勝部賢志氏(59)と



原谷那美氏



勝部賢志氏

合わせ、2人を支援する。立憲民主は会議で、勝部氏に加えてもう1人を同党から擁立したい考えも示した。4者は立憲民主が擁立を正式に決めれば、改めて扱いを検討すると確認した。立憲民主道連の佐々木隆博代表は会議終了後、記者団に「勝てる候補をできるだけ早く選びたい」と述べた。

原谷氏は札幌市生まれ。小樽商科大と酪農学園大の二つの大学を卒業後、札幌市内の動物病院に勤務。8月末まで道議会臨時職員だった。国民民主党道連は近く党本部に公認を申請する。

勝部氏に続く2人目を巡っては、立憲民主、国民民主がそれぞれ候補擁立を自

指し、調整が難航。来春の道知事選など統一地方選への影響を懸念した連合北海道などが、まずは両党がそれぞれ1人ずつを擁立し、連合北海道と北海道農民政治力会議が支援する態勢の維持を優先した。

ただ、立憲民主が実際に2人目を擁立すれば、旧民进系から3人立候補することになる。自民、共産などの候補との争いだけでなく、支持基盤が重なる旧民进系で競合する構図になり、選挙協力を維持できるかは不透明だ。

参院選道選挙区を巡っては、共産党前衆院議員の畠山和也氏(47)が立候補を予定しているほか、自民党も2人を擁立する方針。(中村征太郎、内藤景大)